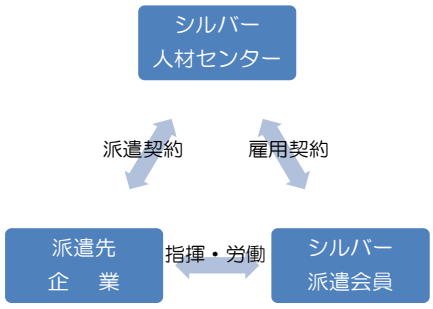
理事長あいさつ

■ シルバー派遣事業への取り組み

理事長　川野武豊

今年の夏は、平成２２年の猛暑を超える記録的な猛暑日が連続する中、就業に励んでおられる会員の皆さま、特に炎天下で汗みずくになって就業に励んでいただいた会員の皆さまには、熱中症への対応など十分に励行していただき、無事故で乗り切っていただいたことに感謝を申し上げます。爽秋の気配が感じられるようになりましたが、引続き「安全就業」そして「事故防止」に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

業績（４～７月）につきましては、昨年に引続き緩やかながら順調に推移し、契約金額は４９，７３１千円で前年度比１０５％、そして４年連続で減少した会員数は、３０７人から３３１人へと２４人増加しました。これは昨年度より実行した就業開拓推進活動の成果だと思われますが、会員数の減少に歯止めがかかるか、期待するところです。



シルバー派遣事業のしくみ

今日、日本経済やシルバー業界を取り巻く環境は大きく変動している中、当センターは昨年末に着手した派遣事業の「普及活動」と「就業実績作り」に懸命の努力を重ねていますが、未だ実績らしき数字を残すには至らず、派遣事業参入の難しさを痛感しているところです。しかしながら、このシルバー派遣事業は国を挙げての取り組みであります。なんとしても「実績作り」を、知恵と工夫を重ねて実現に向けて、引続き精華町をはじめ民間企業各社へシルバー派遣事業について十分に理解をいただき、要請して参ります。

なお、派遣要員確保のため、養成講座（保育補助・介護補助員・スーパー等販売員・役立つ軽作業）を開催いたしました。

当シルバーは会員の高齢化による作業効率の低下や危険予知群が見受けられ、その対策が急がれます。基本的には会員の増加が一番の解決策ですが、実働会員の若返り、「後継者」 が必要不可欠となります。会員個々の新たな就業分野への挑戦を含め技能講習を図り実働会員拡大を進めて「若返り」を目指しますので、会員の皆さまをはじめ事務局役職員のご協力、ご指導をお願いいたします。

終わりに、昨年度の事故発生件数は８件、今年度は（４～８月）で３件、発生しています。幸い重篤事故には至りませんでしたが、一歩間違えば重大事故につながる内容のものが散見されました。特に今期も含め高齢化が起因とみられる、不注意事故が目立ちました。自分自身を過信せず十分に注意を払って無理のない安全就業に努めていただきますようあわせてお願いいたします。

理事会等のうごき

■ 平成27年度　第3回理事会

平成２７年８月２４日（月）

第　９号議案

平成２７年度第２次収支補正予算（案）の承認について

第１０号議案

平成２７年度公益社団法人精華町シルバー人材センター配分金規程の配分金見積基準の一部改定の承認について

全議案を可決しました

表紙の絵について

今号の表紙は今までの写真とは趣向が違います。縁あって古い街並みを描く水彩画家岸本信夫さんの絵で飾ることになりました。

新聞社在籍時代に始めたスケッチ紀行、北海道から沖縄まで全国の民家のある風景を描き続けること２０年以上、描き溜めた絵を２００３年にはホームページで公開、今ではその数２０００枚を超えているとのこと。「あなたの故郷の絵があるかもしれません」のキャッチフレーズのとおり、精華町の絵を見つけました。絵の美しさに一目ぼれ本誌への掲載をお願いしたところ「私もシルバーですから」と快諾をいただきました。絵の好きな方、「民家と町並み」でホームページを検索してみてください。